

「第8回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書

(2015年5月調査)

2016年1月27日

【はじめに】

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2015年5月に実施しました「第8回調査」の結果を報告します。調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

【調査概要】

- ①調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
- ②調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する117団体・事業所の勤労者
- ③調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④調査実施期間：年2回5月・11月、第8回調査2015年5月1日～5月31日
- ⑤回答数：第8回調査登録者数：508名、回答者数：362名、有効回答数：362名（71.3%）
- ⑥調査方法：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

【主な調査結果概要】

1. **業況** 勤労者からみた愛媛県内の業況は大幅に改善（問1）。
2. **物価** 消費税率の引き上げ後、すでに1年、勤労者の物価上昇感は強いまま（問2）。
3. **賃金** 賃金収入DIは、全体ではほぼ横ばい（問4）。
4. **仕事での不安・悩み** 「将来の収入」と「収入の少なさ」が常にツートップ（問6）。
5. **暮らし向き** 「世帯の暮らし向き」は、下落傾向から改善へ反転（問10、11）。
6. **総括** 勤労者からみた愛媛県内の業況は大幅に改善した。その他にも、世帯収支DIの改善、世帯の暮らし向きDIの改善など、改善した項目が出てきた。他方、賃金収入DIが横ばい、消費税率の引き上げ以降、県内勤労者の物価上昇感は依然として強いまま、「仕事での不安・悩み」では「将来の収入」と「収入の少なさ」が常にツートップに来るなど、勤労者が置かれた厳しい状況が消えたわけではない。当面の課題は、引き続き、賃金収入の改善ということになる。

第8回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート有効回答数	362
------------	-----

性別	人	%
男性	244	67.4
女性	118	32.6

年齢構成	人	%
20歳代	40	11.0
30歳代	107	29.6
40歳代	106	29.3
50歳代	91	25.1
60歳以上	17	4.7
NA	1	0.3

家族構成	人	%
1..あなた(①)	47	13.0
2..あなた/親(①④)	37	10.2
3..あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	8	2.2
4..あなた/子ども(①③)	15	4.1
5..あなた/子ども/親(①③④)	3	0.8
6..夫婦(①②)	53	14.6
7..夫婦/子ども(①②③)	157	43.4
8..夫婦/親(①②④)	15	4.1
9..夫婦/子ども/親(①②③④)	23	6.4
10..その他(それ以外の組み合わせ)	4	1.1

居住地	人	%
東予	128	35.4
中予	180	49.7
南予	51	14.1
その他	3	0.8

勤務地	人	%
東予	129	35.6
中予	183	50.6
南予	48	13.3
その他	2	0.6

勤続年数	人	%
5年未満	47	13.0
5年以上15年未満	132	36.5
15年以上25年未満	99	27.3
25年以上	84	23.2

従業員数	人	%
9人以下	45	12.4
10~49人	57	15.7
50~99人	21	5.8
100~499人	100	27.6
500~999人	45	12.4
1000人以上	94	26.0

業種	人	%
民間製造業	121	33.4
民間非製造業	172	47.5
公務員	23	6.4
その他(医療、福祉団体等)	46	12.7

就業形態	人	%
正規	312	86.2
非正規	50	13.8

労働時間	人	%
20時間未満	8	2.2
20~30時間未満	9	2.5
30~40時間未満	76	21.0
40時間	48	13.3
41~50時間未満	152	42.0
50~60時間未満	51	14.1
60時間以上	18	5.0

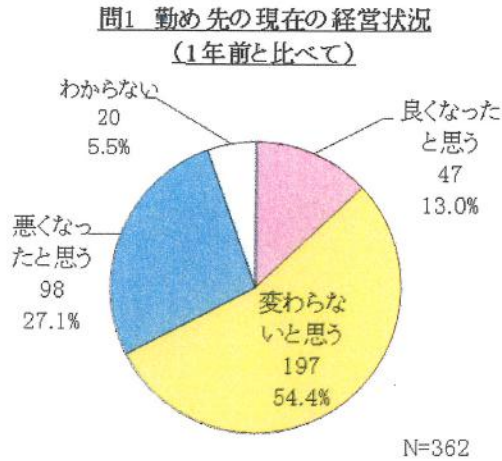
年収	人	%
200万円未満	31	8.6
200万円~400万円未満	124	34.3
400~600万円未満	122	33.7
600~800万円未満	66	18.2
800万円以上	13	3.6
NA	6	1.7

勤続年数	平均(年)
平均(年)	16.3
中央値	15
最頻値	8

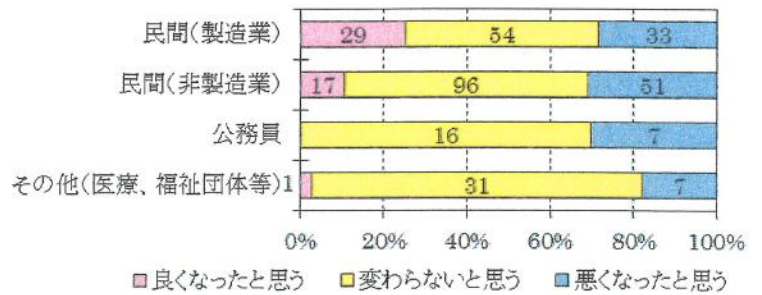
[調査結果]

1. 勤め先の経営状況

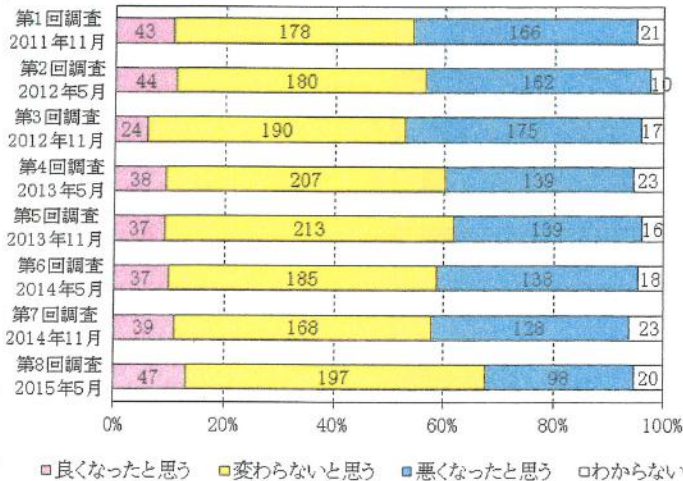
第8回調査では、「悪くなったと思う」が大幅に減少し、経営状況DIは上昇した(10.8ポイント上昇)。勤労者からみた愛媛県内の業況は大幅に改善した。



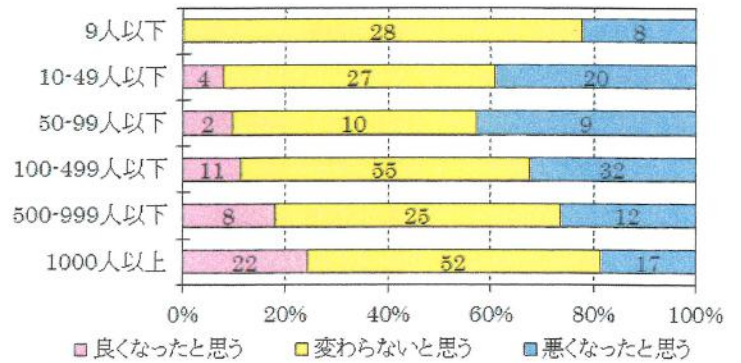
業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



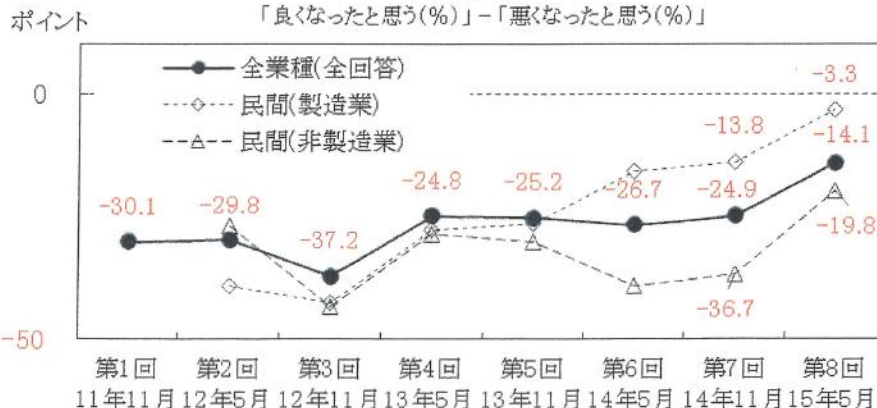
問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)



従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



経営状況DI

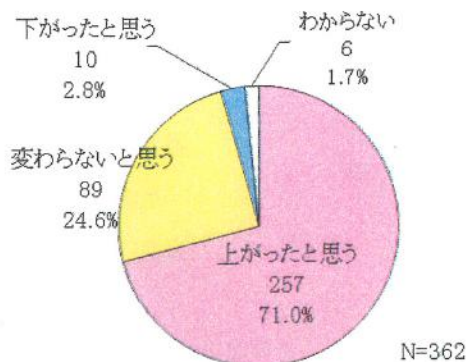


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

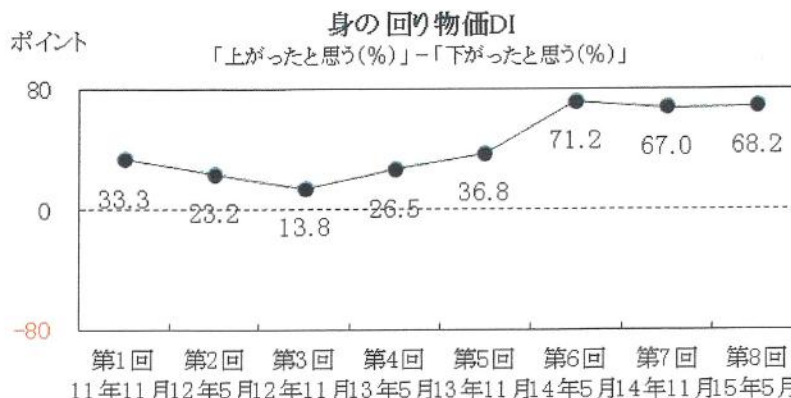
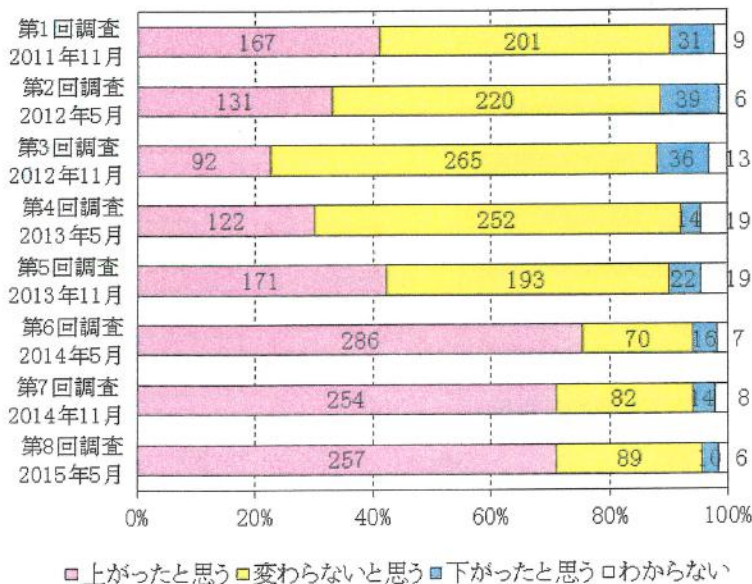
2. 身の回りの物価

1年前と比べた身の回りの物価については、「上がったと思う」が前々回の調査（2014年5月の調査）から7割に達している。身の回り物価DIは高止まりしている（68.2ポイント）。消費税率の引き上げ以降、県内勤労者の物価上昇感は依然として強い。

問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



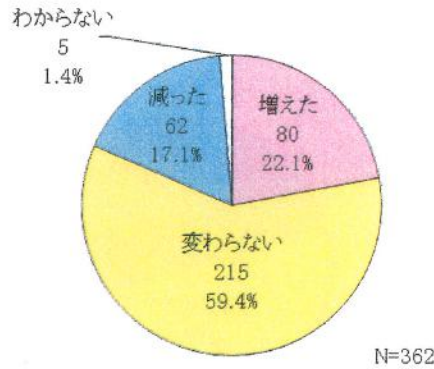
問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



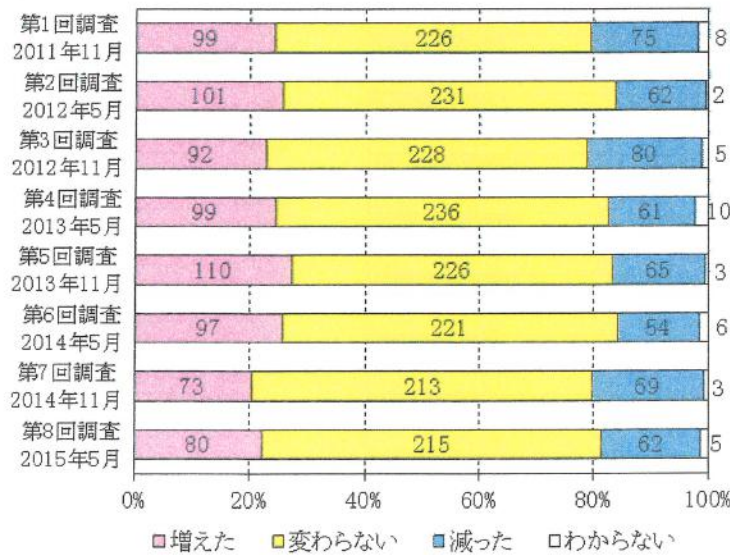
3. 実労働時間

最近の実労働時間については、「増えた」の割合が増加し、「減った」の割合が減少した。労働時間DIは僅かに上昇した(3.9ポイント上昇)。

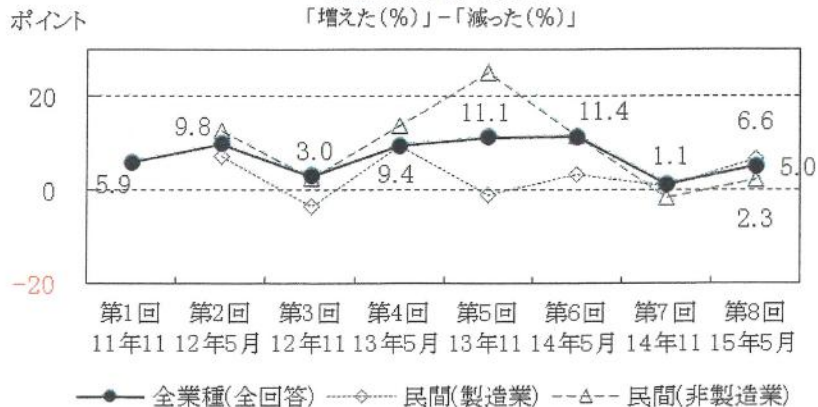
問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)
(1年前と比べて)



問3 最近の実労働時間
(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)



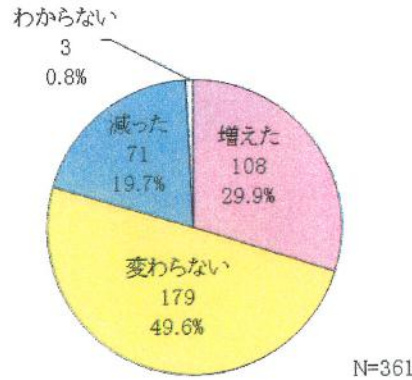
業種別労働時間DI
「増えた(%)」-「減った(%)」



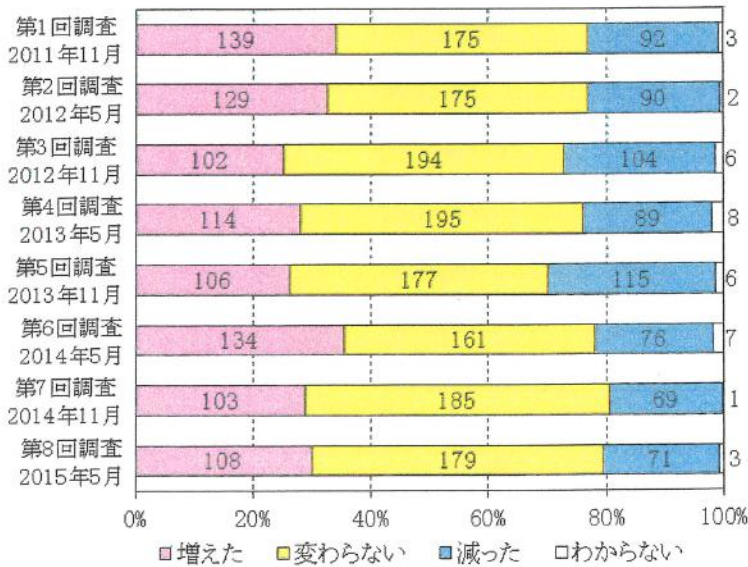
4. 賃金収入

賃金収入DIは、全業種ではほぼ横ばいであったが(10.2ポイント)、製造業と非製造業で格差が広がった。また、前回調査と同様に、年齢が低い層ほど「増えた」の割合が多くなった。

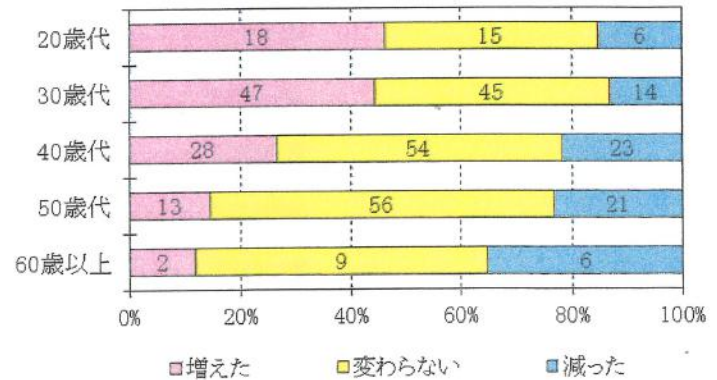
問4 あなたの賃金収入
(1年前と比べて)



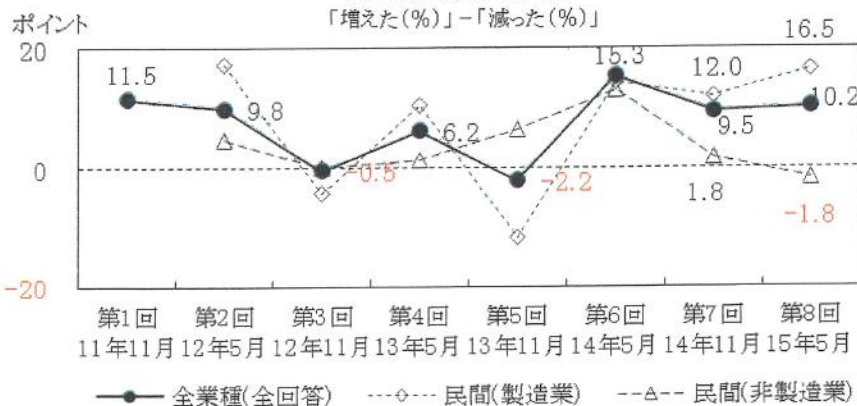
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



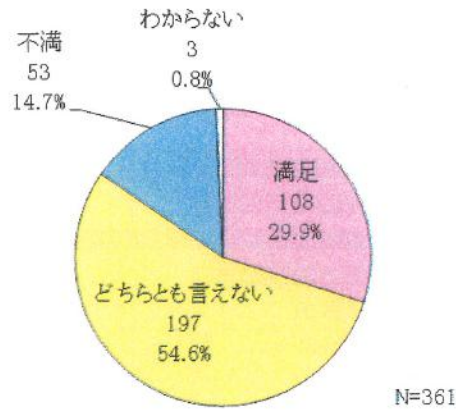
業種別賃金収入DI



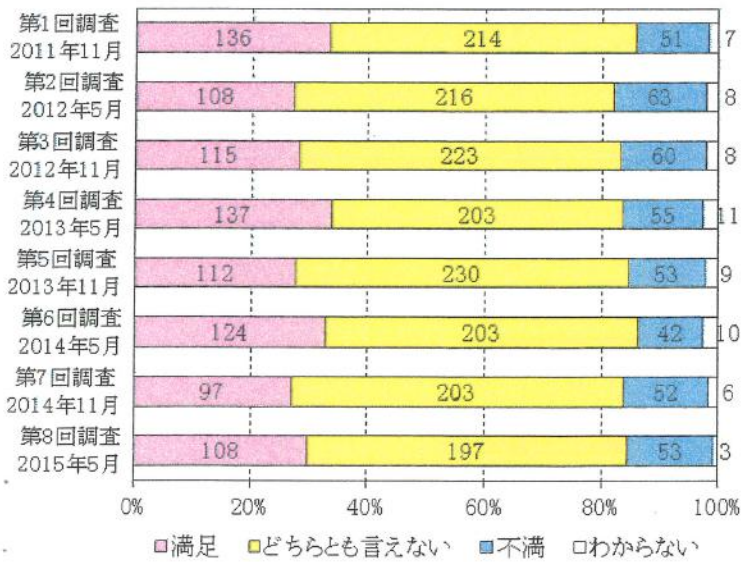
5. 勤め先の仕事の満足感

「満足」が増加し、仕事満足DIは僅かに上昇した(2.7ポイント上昇)。今回も「仕事の満足感」と「賃金収入の増減」に関連性がみられた。

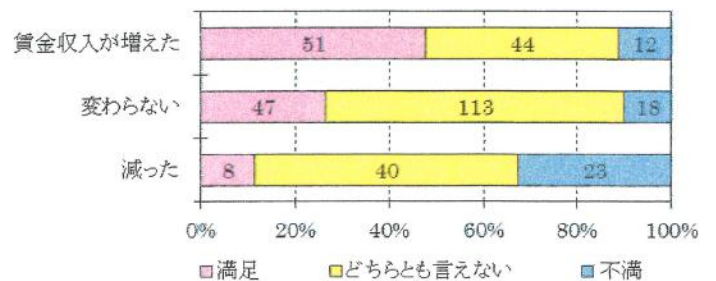
問5 仕事の満足感



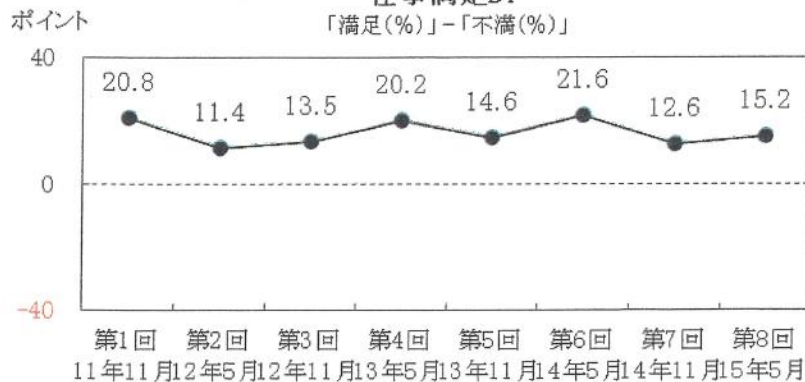
問6 仕事の満足感



賃金収入の増減別にみた仕事の満足感



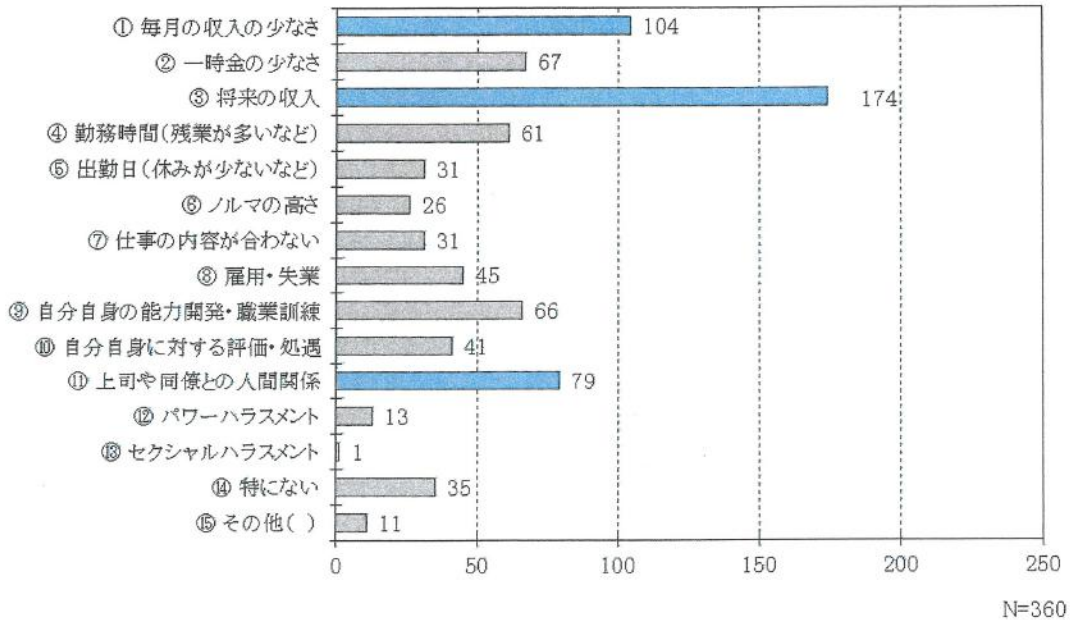
仕事満足DI



6. 仕事での不安・悩み

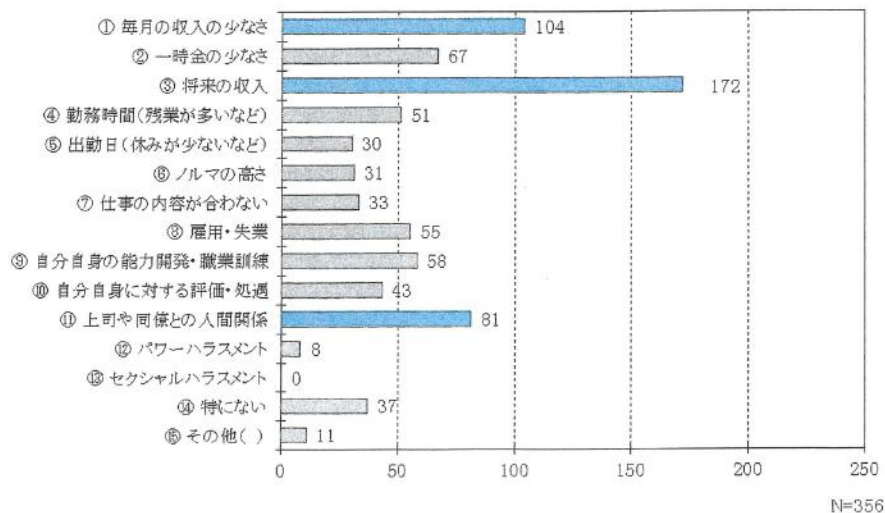
今回も最も多い回答は③「将来の収入」(回答数 174, 選択率 48.3%), 2番目は①「毎月の収入の少なさ」(同 104, 28.9%), 3番目は⑪「上司や同僚との人間関係」(同 79, 21.9%)であった。

問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



参考 前回第7回調査 (2014年11月)

問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)

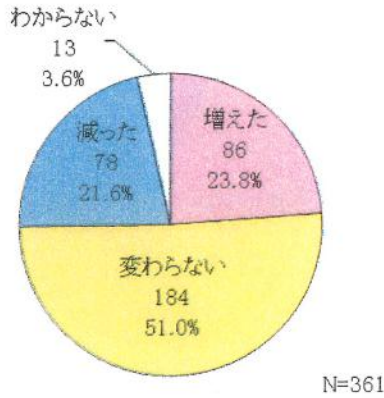


〈暮らし向きについて〉

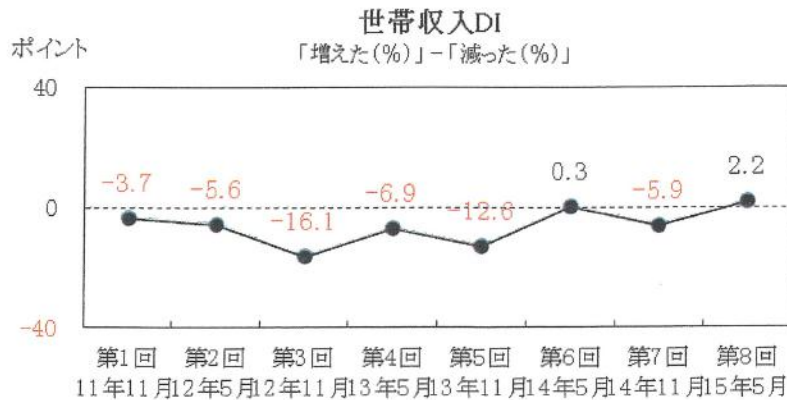
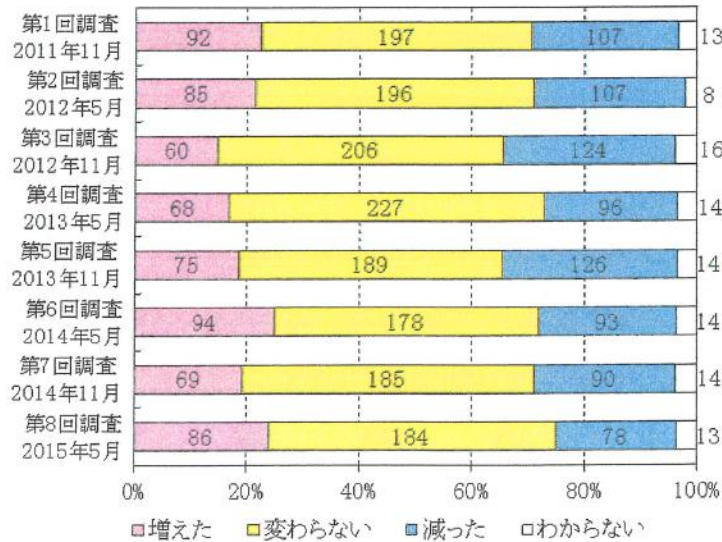
7. 世帯全体の収入

前回調査(2014年11月実施)と比べ、「増えた」は増加し、「減った」は減少し、世帯収入DIは上昇した(8.1ポイント上昇)。

問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



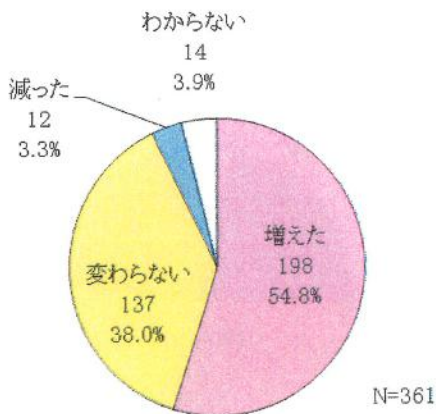
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



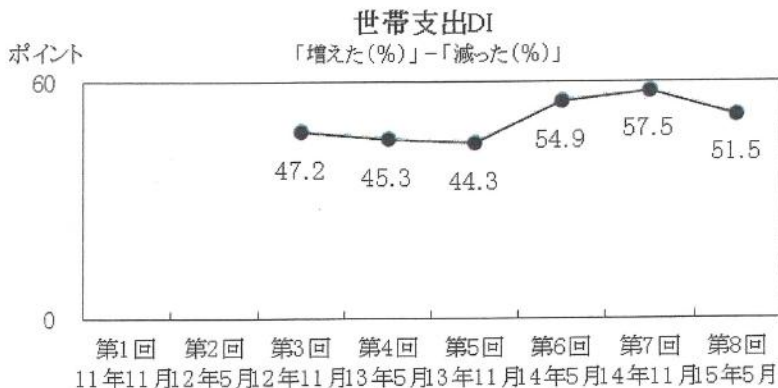
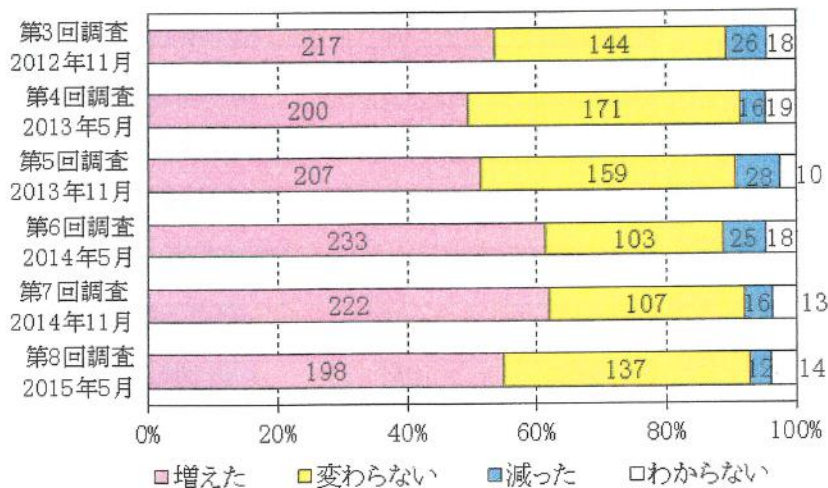
8. 世帯全体の支出

世帯全体の支出については、「増えた」の回答が減少し、世帯支出DIは下落した(6.0ポイント下落)。

問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



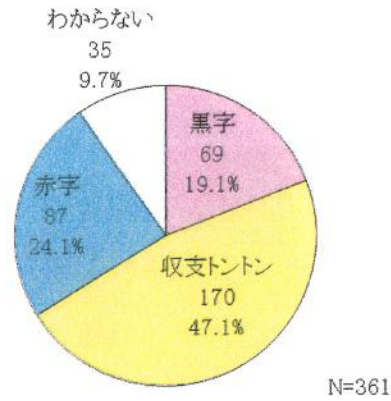
問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



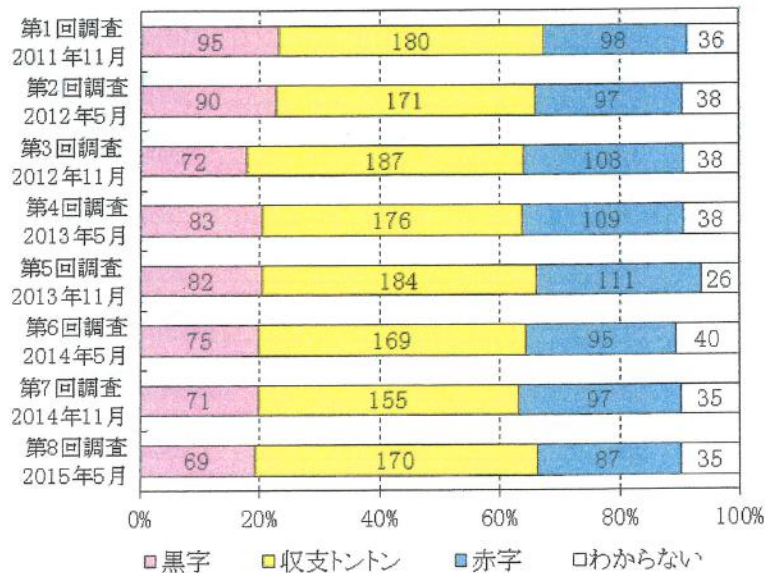
9. 世帯の年間収支

2年前の調査（第3回2012年11月調査）以降、世帯収支DIは小幅な変動が続いている。

問9 1年間の世帯全体の収支

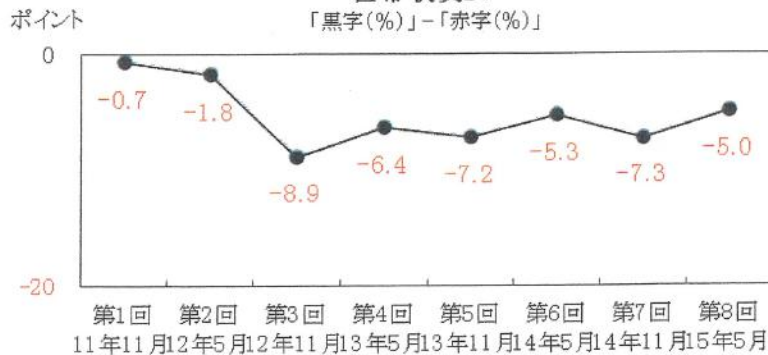


問9 1年間の世帯全体の収支



世帯収支DI

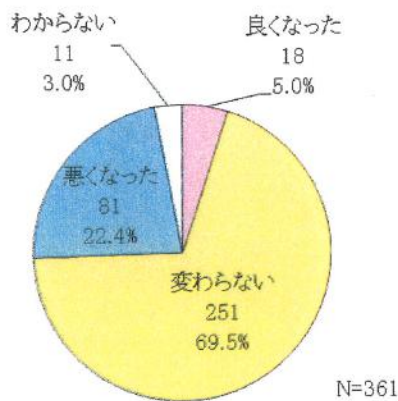
「黒字(%)」-「赤字(%)」



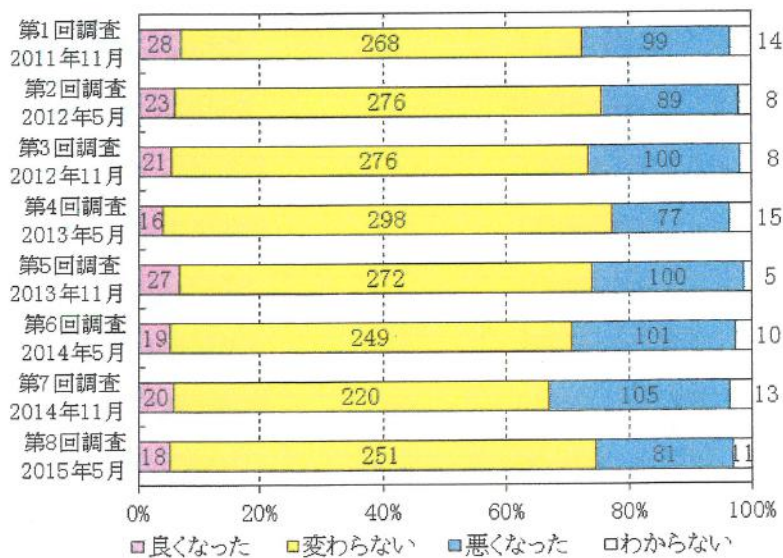
10. 世帯の暮らし向き

前回調査時より、「悪くなった」の割合が減少し、暮らし向きDIは上昇した(6.3ポイント上昇)。暮らし向きに改善がみられた。

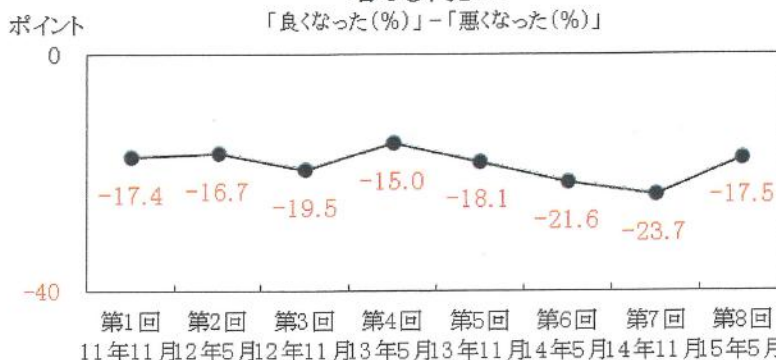
問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



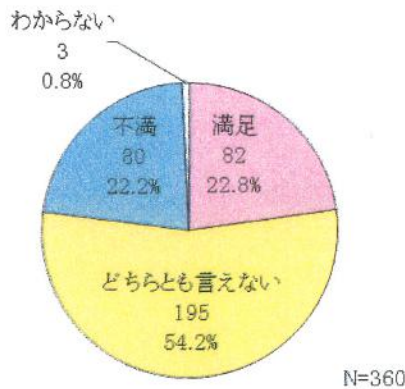
暮らし向きDI



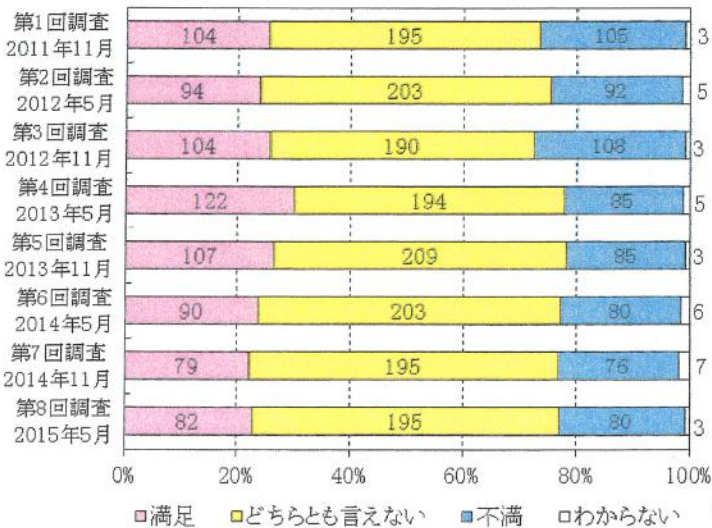
1.1. 生活の満足感

第5回 2013年11月調査以降、生活満足DIは下がりっぱなしである。「生活の満足感」については、就業形態、年間収入額、賃金収入の増減、「仕事の満足感」「世帯の暮らし向き」との関連性がみられる。

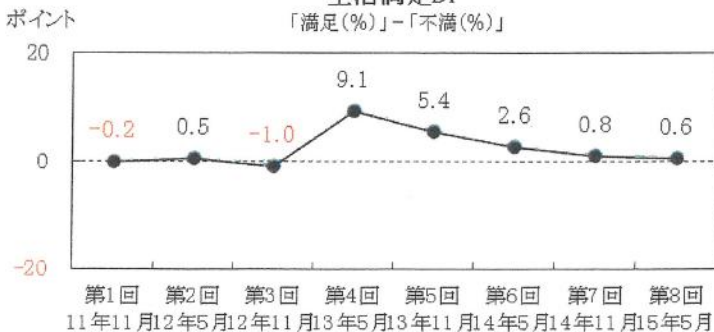
問11 生活の満足感



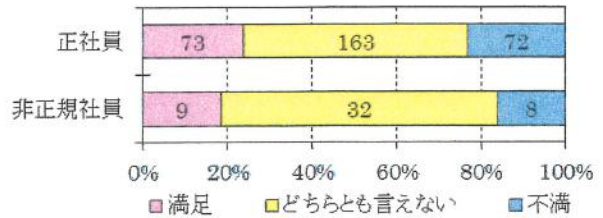
問11 生活の満足感



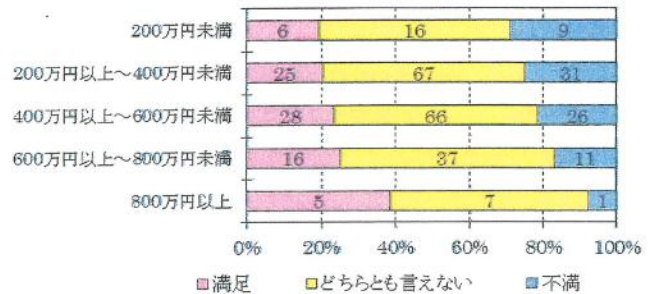
生活満足DI
「満足(%)」-「不満(%)」



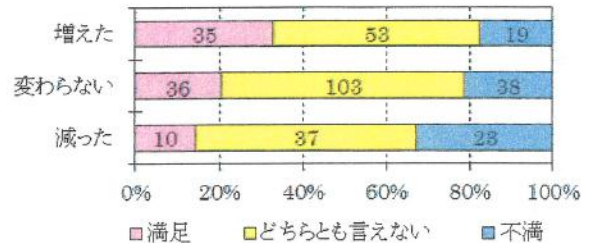
就業形態別にみた生活の満足感



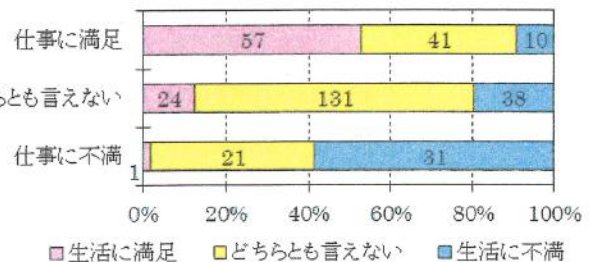
年収別にみた生活の満足感



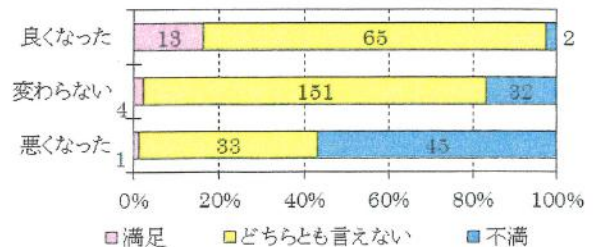
賃金収入の増減別にみた生活の満足感



仕事の満足感と生活の満足感



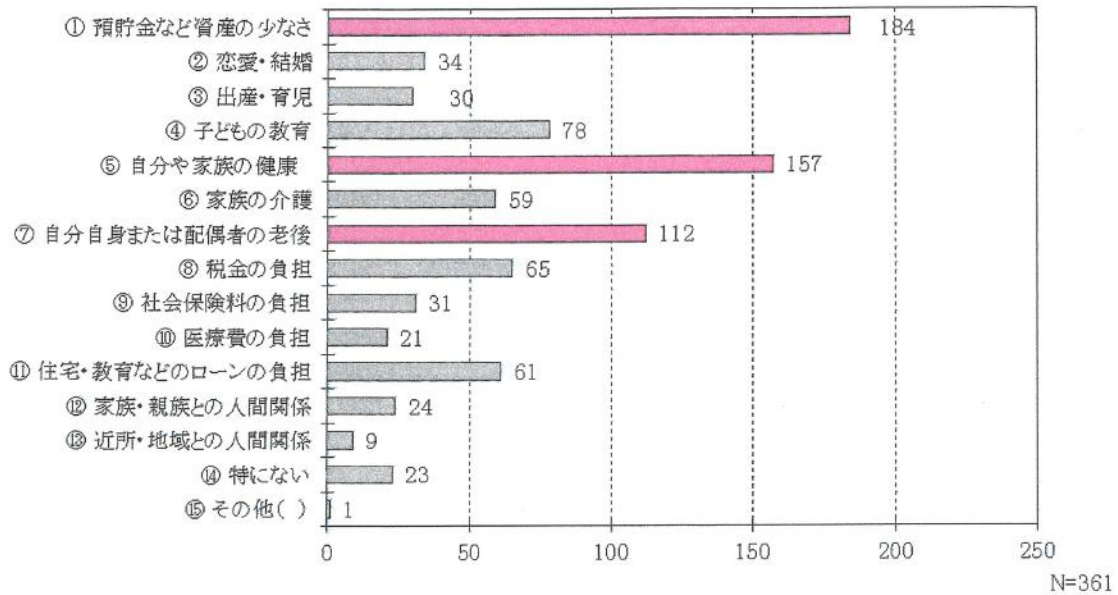
世帯の暮らし向きと生活の満足感



12. 暮らし向きに関連した不安・悩み

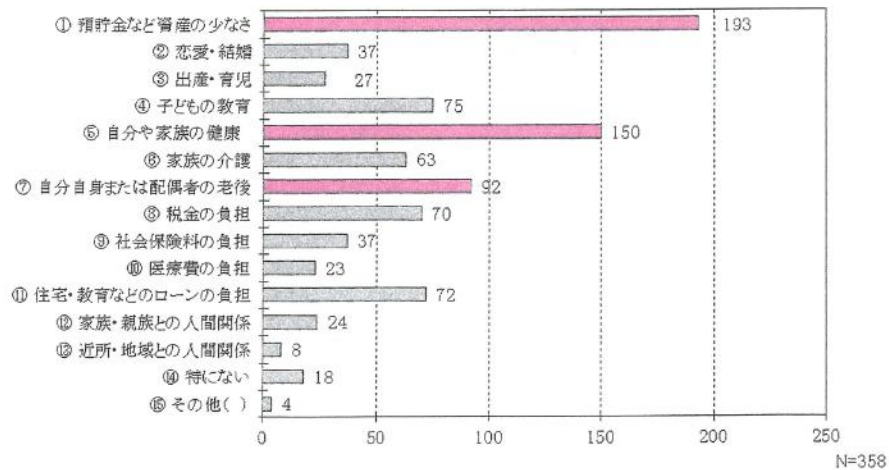
①「預貯金など資産の少なさ」(184, 51.0%), ⑤「自分や家族の健康」(157, 43.5%), ⑦「自分自身または配偶者の老後」(112, 31.0%)が第1回調査以降変わらず上位に入っている。

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



参考 前回第7回調査(2013年11月)

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



(第8回定期調査の結果は以上です。)